

本県の職業能力開発の取組の現状

1 本県の公共職業能力開発の現状

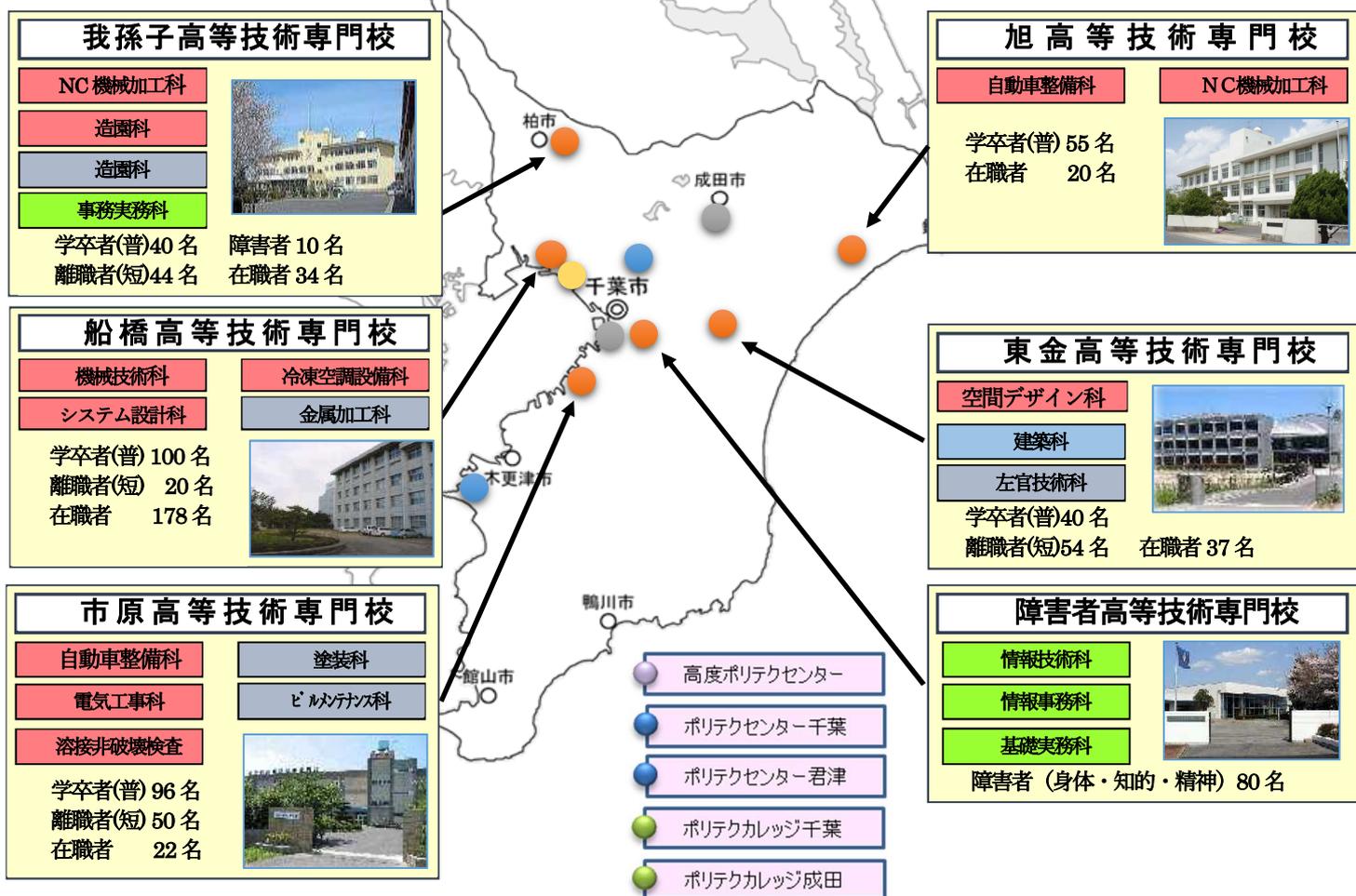
(1) 公共職業能力開発施設における職業訓練

ア 概要

県では現在、6校の県立高等技術専門校（市原校、船橋校、我孫子校、旭校、東金校、障害者校）を設置しており、新規学卒者等を対象とした1～2年間の普通課程（11科、定員228名）の訓練を主体に、離職者等を対象とした6か月程度の短期課程（10科、定員163名）の訓練や在職者を対象とした訓練を併せて実施しています。

県内には、国の訓練施設が5施設と、他県に比べて多く設置されています。学卒者を対象とした2年間の専門課程主体の施設と離職者を対象とした6か月程度の短期課程の施設があり、訓練内容や実施地域が県の職業訓練と重複しないよう設定されています。

千葉県の公共職業能力開発施設（令和4年度末現在）



イ 県立高等技術専門校の施設内訓練の状況

① 入校の状況

- ・ 6校全体の入校生（普通課程、短期課程、障害者）は、令和3年度が264人で、毎年度250～300人程度が入校しています。
- ・ 6校全体の令和3年度の定員に対する応募倍率は0.88倍、入校率は56.9%と低い状況にありますが、自動車整備科（市原校）やシステム設計科（船橋校）など90%を超える訓練科もあれば、NC機械加工科（我孫子校）など10%台の訓練科もあるなど、訓練科によって大きな開きがあります。
- ・ 県立高等技術専門校の認知度は、事業者72.4%、高校生19.7%、進路指導担当教員84.8%となっています。（令和3年 千葉県職業能力開発の推進に係るアンケート調査）

図 1 全校の応募・入校状況

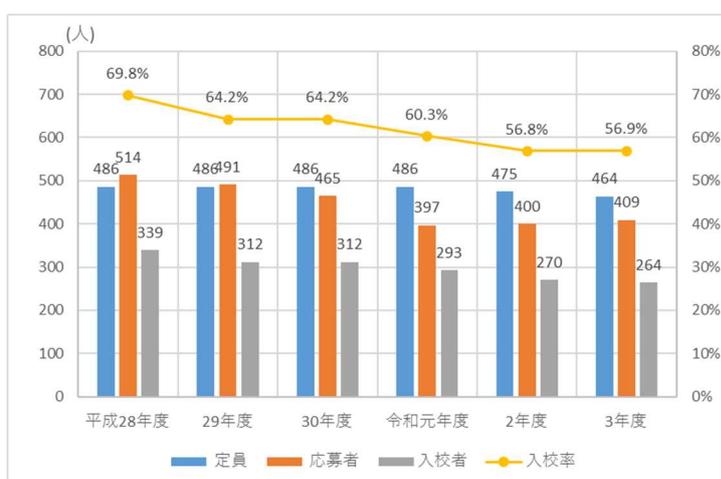


図 2 一般校（5校）の応募・入校状況

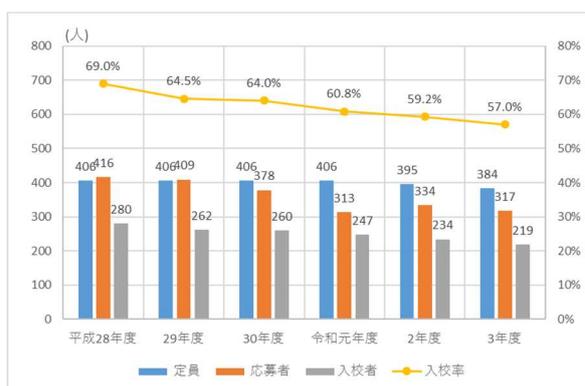
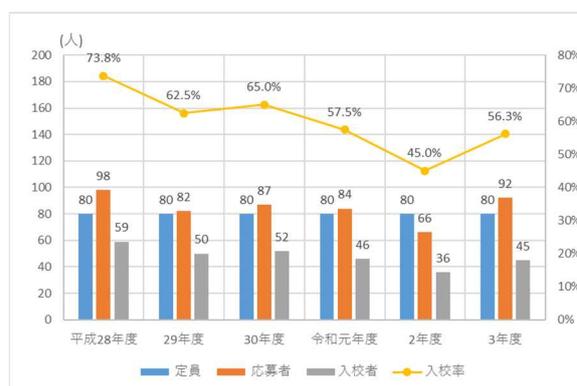


図 3 障害者校の応募・入校状況



② 入校に要する費用

- ・ 普通課程では、入校選考料が 2,200 円、入校料が 5,650 円、授業料が 118,800 円と県立高校と同一であり、世帯の所得状況等によって授業料の減免も受けられます。
- ・ 短期課程では、入校選考料、入校料、授業料がいずれも無料となっています。

③ 訓練科ごとの状況

- ・ 少人数単位の訓練できめ細やかな指導やサポートが受けられ、様々な資格や技能の習得ができます。

表 1 訓練科ごとの応募・入校・就職率

校名	訓練課程	訓練科	定員	訓練期間	入校時期	応募者数 平均※1	入校者数 平均※1	入校率 平均※1	就職率 平均※1	求人倍率 平均※1
市原	普通	自動車整備	23	2年	4月	36	21	91.3%	90.2%	8.8
		電気工事	30	1年	4月	19	13	42.0%	90.0%	19.7
		溶接非破壊検査	20	1年	4月	5	5	23.0%	95.7%	20.1
	短期	塗装	20	1年	4月	11	7	33.0%	93.3%	5.5
		ビルメンテナンス	30	6か月	4、10月	35	20	66.7%	78.1%	4.2
船橋	普通	機械技術	20	2年	4月	16	14	70.0%	98.3%	7.6
		システム設計	20	2年	4月	35	19	94.0%	96.2%	7.9
		冷凍空調設備	20	1年	4月	20	17	85.0%	96.2%	10.6
	短期	金属加工	20	6か月	4、10月	13	11	54.0%	90.6%	14.8
我孫子	普通	NC機械加工	20	1年	4月	4	3	15.0%	84.6%	54.8
		造園	20	1年	4月	17	14	71.0%	93.9%	2.2
	短期	造園	44	6か月	4、7 10、1月	55	36	95.2%	88.6%	※2
		事務実務	10	1年	4月	9	6	56.0%	88.5%	※4
旭	普通	自動車整備	20	2年	4月	20	17	84.0%	95.9%	8.6
		NC機械加工	15	1年	4月	4	4	26.7%	88.2%	13.1
東金	普通	空間デザイン	20	2年	4月	12	10	48.0%	88.1%	16.1
		建築	30	1年	4月	27	19	64.0%	86.5%	26.7
	短期	左官技術(デュアル)	8	9か月	4月	7	6	72.5%	96.0%	15.7
		左官技術	16	6か月	10、3月	7	5	32.5%	90.0%	※3
障害者	短期	DTP・Webデザイン	10	1年	4月	12	8	84.0%	70.3%	※4
		福祉住環境・CAD	10	1年	4月	9	6	64.0%	72.4%	※4
		PCビジネス	20	1年	4月	18	12	61.0%	75.5%	※4
		職域開拓	10	1年	4月	13	9	86.0%	88.2%	※4
		基礎実務	20	1年	4月	29	9	46.0%	94.7%	※4
		短期実務	10	1年	7、1月	2	1	10.0%	100.0%	※4

※1 平成29年度～令和3年度の平均

※2 造園科短期課程は、造園科普通課程と同じ。

※3 左官技術科6か月訓練は、左官技術科9か月訓練と同じ。

※4 障害者訓練は、ハローワークを窓口として職業紹介があるため記載なし。

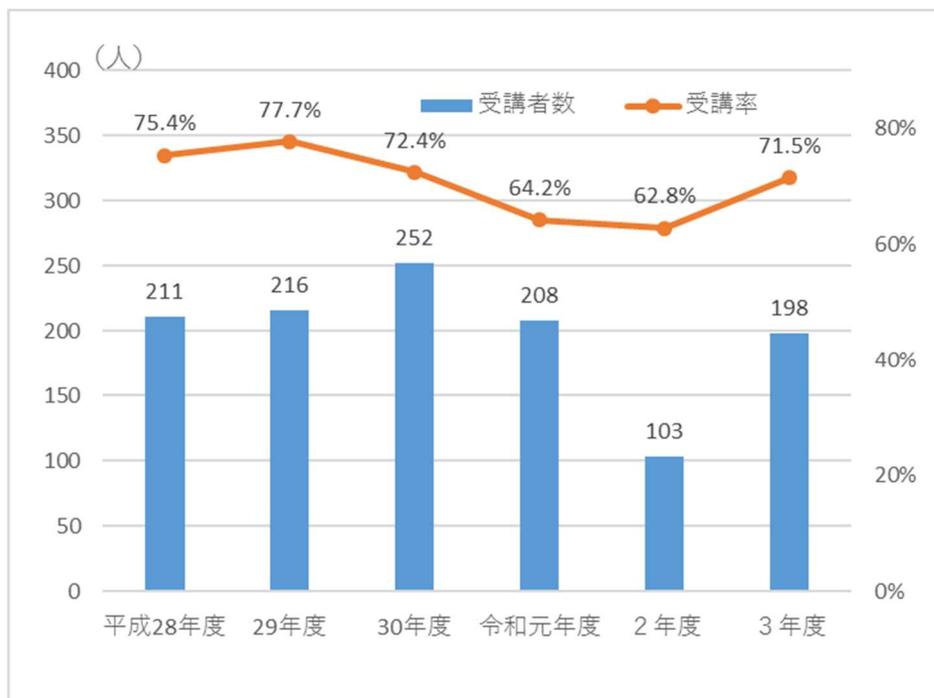
- 各訓練科の特徴を生かして、以下のような取組も行っています。

表 2 各校の特徴的な取組の例

校名・訓練科名	概要
船橋校・システム設計科	訓練生が令和 4 年度に開催された「第 17 回若年者ものづくり競技大会 (IT ネットワークシステム管理)」に出場。
我孫子校・造園科	技能五輪千葉県大会及び全国大会に出場。平成 28 年から令和 3 年までに、10 名の千葉県代表が選出されている。
東金校・空間デザイン科	訓練生が毎年「ヤング POP クリエイティブ・アワード」に出品し、これまでに 7 回の金賞受賞。
障害者校・情報技術科 情報事務科 基礎実務科	訓練生が「千葉県障害者技能競技大会」にて、各競技種目 (ワードプロセッサ、ホームページ、喫茶サービス、ビルクリーニング) にて、訓練の成果を活かし数多くの賞を受賞。

- 地域の中小企業の在職者等を対象に技能向上のための訓練 (ちば企業人スキルアップセミナー) を実施しています。平成 29 年度から令和 3 年度までで 977 名が受講しています。

図 4 ちば企業人スキルアップセミナーの受講者数の推移



④ 訓練後の就職状況

- ・ 6校全体の就職率は令和2年度が87.3%、令和3年度が86.9%と、8割から9割前後の高い水準を維持しています。
- ・ 就職者の内、訓練と関連する企業への就職率は85.4%、正規雇用者の率は75.2%、中小企業への就職率は70.9%となっています。
- ・ 県内就職の割合は76.7%（令和3年度修了生）と、約8割が県内で就職しています。
- ・ 市原校（自動車整備科・溶接非破壊検査科）、船橋校（機械技術科）、我孫子校（造園科）、東金校（空間デザイン科）などは、就職率が100%（令和3年度実績）となっており、旭校（自動車整備科）では、親子2代にわたって修了生がいるなど、地元との密着度が高い状況です。

図5 全校（6校）の就職状況

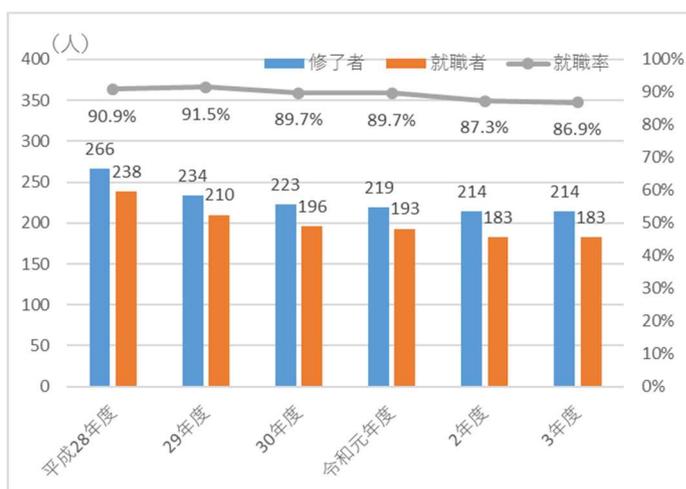


図6 一般校（5校）の就職状況

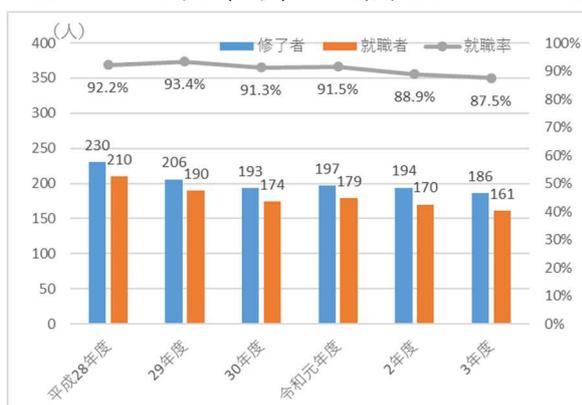
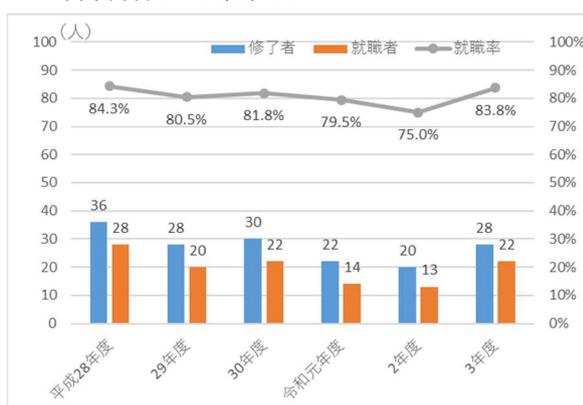


図7 障害者校の就職状況



⑤ 訓練施設・設備の状況

- ・ 築30年以上の建物が多く、全体的に老朽化が進んでいますが、特に実習棟は築50年前後の建物が過半を占めています。平成30年度から、市原校の管理棟の大規模改修及び総合実習棟の建替を行っています。
- ・ また、我孫子校のNC機械加工科・造園科実習棟に耐震上の問題があったため使用中止とし、令和4年度中に仮設実習棟を建設します。
- ・ 訓練設備も古いものが増えていますが、新しい設備を順次導入し、技術水準の向上と即戦力を求める企業ニーズに対応しているところです。

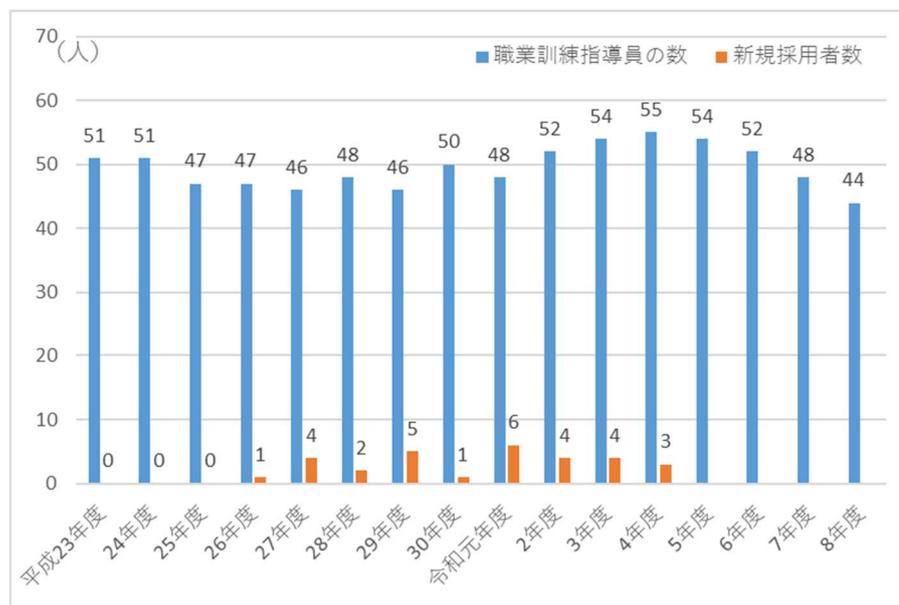
表3 施設建築時期

校名	校舎建設時期	備考
市原校	管理棟 (S49) 総合実習棟 (S50) ビルメンテナンス科第1、第2実習棟 (S37、S45)	実習棟 IS 値 0.3
船橋校	実習棟 (S59)、管理実習棟 (H3)	
我孫子校	管理棟・実習棟 (S61)、実習場 (S40)、 旧自動車整備科実習棟 (H6)	実習棟 IS 値 0.1
旭校	本館 (H2)、実習棟 (自動車整備科) (S39、S41)、 実習棟 (NC 機械加工科) (S39、H2)	実習棟 IS 値 0.3
東金校	管理棟・実習棟 (H10)	
障害者校	管理・実習棟 (S57)	

⑥ 職業訓練指導員の配置状況

- ・ 平成26年度以降は、退職者や欠員の補充のため新規採用を実施しており、概ね横ばいの傾向にあります。
- ・ 平均年齢については、平成28年度末は49歳でしたが、新規採用の実施により、令和3年度末の平均年齢は46歳となっています。
- ・ 新規採用にあたっては、募集しても応募がない時もあることから、計画的に指導員を採用できるよう、指導員確保に向けた方策を検討する必要があります。

図8 職業訓練指導員の配置状況の推移



(2) 公共職業能力開発施設以外における職業訓練

ア 離職者等再就職委託訓練の状況

離職者の円滑な就職に資するため、民間教育訓練実施機関に委託して、パソコン、経理、介護など、多様な職業訓練を、受講料無料で実施しています。

また、令和3年度にデジタル人材育成コース及びeラーニングコース、令和4年度に高齢求職者スキルアップ・スキルチェンジコースを新設するなど、社会のニーズにあった訓練コースの設定に努めています。

①各訓練コースの概要

コース名	概要
知識等習得コース	<ul style="list-style-type: none"> 求職者に必要な知識・技能等の職業能力を付与するためのコースで、パソコン操作、経理事務、介護初任者研修などの3か月の訓練を行う（介護初任者は2か月の訓練もあり）。 母子家庭等を優先とした託児付きのコースも実施 IT資格の取得等を目指すデジタル人材育成コース【令和3年度新設】
長期高度人材育成コース	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士・保育士・美容師の資格取得を目的とした2年間の訓練コース
デュアルシステムコース	<ul style="list-style-type: none"> 民間教育訓練機関等を活用した座学と、事業主等への委託による企業実習及び企業実習先での能力評価を行うコース
建設人材育成コース	<ul style="list-style-type: none"> 建設分野において、即戦力となる人材を育成するため、建設機械等の運転技能や型枠などの実技及び就職支援、ビジネスマナー、パソコンスキルなどの座学を組み合わせた総合的な訓練コース
大型自動車一種運転業務従事者育成コース	<ul style="list-style-type: none"> 大型自動車運転業務への就業を希望する求職者に対し、大型自動車一種免許の取得及び自動車運送業界の就労に必要な知識等の習得を目指すコース
eラーニングコース【令和3年度新設】	<ul style="list-style-type: none"> 育児・介護中等の通所が困難な者を対象とした2か月又は3か月のコース
高齢求職者スキルアップ・スキルチェンジコース【令和4年度新設】	<ul style="list-style-type: none"> 概ね60歳以上の者を対象に、マンション管理等、高齢者の就職に資する知識・技能を習得するコース

②過去3年の訓練実績

年度	コース数	受講者数(人)	受講者内訳					
			知識*	長期	デュアル	建設	大型	eラーニング
令和元	209	3,206	2,590	196	364	49	7	—
令和2	206	3,087	2,603	185	249	50	0	—
令和3	229	3,270	2,763	195	241	59	0	12

*知識習得コースには、デジタル人材育成コース、託児付きコースを含む。

イ 認定職業訓練施設の状況

事業主等が従業員等に対して行う教育訓練で、職業能力開発促進法の基準に従って行われる教育訓練を、「認定職業訓練」として知事が認定しています。

・過去3年の訓練実績（「設置数」は、休止中の訓練校を除く。）

年度	項目	単独校	共同校	計
令和元	設置数	8	12	20
	訓練生数(人)	528	1,702	2,230
令和2	設置数	9	12	21
	訓練生数(人)	418	1,122	1,540
令和3	設置数	7	12	19
	訓練生数(人)	463	1,297	1,760

(参考) 認定職業訓練施設一覧(令和4年4月末時点)

(株)交通建設、(職)君津、(職)市原、(職)柏、(職)松戸、(職)野田、(一社)千葉県タクシー協会、(職)エム・アイ・シー・ビューティーカレッジ、水道管工事協同組合、千葉土建一般労働組合、日本製鉄(株)東日本製鐵所、(株)トップス、(有)はやせ、鉄建建設(株)、(株)ヴィサージュクリエーション、(株)日立産機システム、千葉県職業能力開発協会、住友林業建築技術専門校共同運営組合、オレンジポップ美容技術専門校、トップライド協会

ウ 障害者委託訓練

障害者が身近な地域で職業訓練を受講できるよう、地域の多様な委託先を活用し、障害者の態様に応じ、就職に必要な知識や技能等の習得を目的として、受講料無料で職業訓練を実施しています。

①各訓練コースの概要

コース名	概要
知識・技能習得訓練コース(集合訓練)	・PC技能習得コース(文書作成やインターネット等、就労に必要なパソコン技能の習得)と作業実務コース(箱折り等の軽作業を通して、就労に必要な姿勢・知識・技能を習得)がある2～3か月の訓練コース
知識・技能習得訓練コース(障害者向け日本版デュアルシステム)	・上記「知識・技能習得訓練」修了後に企業等の事業所現場において「実践能力習得訓練」を一体的に実施する3～4か月の訓練コース
実践能力習得訓練コース	・企業等の事業所現場で、データ入力やビジネス文書作成などの事務や販売、バックヤードの作業、工場での製品作り、梱包等の実際の業務に即した作業実習を行い、実践的な職業能力を習得する1～2か月の訓練コース
eラーニングコース	・PC技能を習得する3～4か月の訓練コース
特別支援学校早期訓練コース	・特別支援学校高等部に在籍する生徒に対して、就職に向けた職業能力の開発・向上のための1か月の訓練コース
在職者訓練コース	・在職障害者に対して雇用継続に資する知識・技能を付与するための3か月の訓練コース

②訓練実績

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コース数	6コース	6コース	5コース
受講者数	167人	123人	143人

(3) 訓練生の状況

一般校では、年齢・性別・学歴に関わらず、誰でも訓練を受けることが可能です（施設内訓練の自動車整備科、離職者等再就職委託訓練の長期高度人材育成コース（介護福祉士コース・保育士コース・美容師コース）のみ高卒資格が必須）。女性、若者、高齢者等、様々な方が様々な訓練科・訓練コースで訓練を受けています。

① 男女別の傾向

全般的には、高等技術専門校の施設内訓練は男性が90%と多く、離職者等再就職訓練は女性が79.8%と多い傾向にあります。施設内訓練で男女比が半々の訓練科や、離職者等再就職訓練で男性が約4割のコースもあるなど、訓練科やコースによって様々です。

図 9 高等技術専門校の施設内訓練における女性の割合

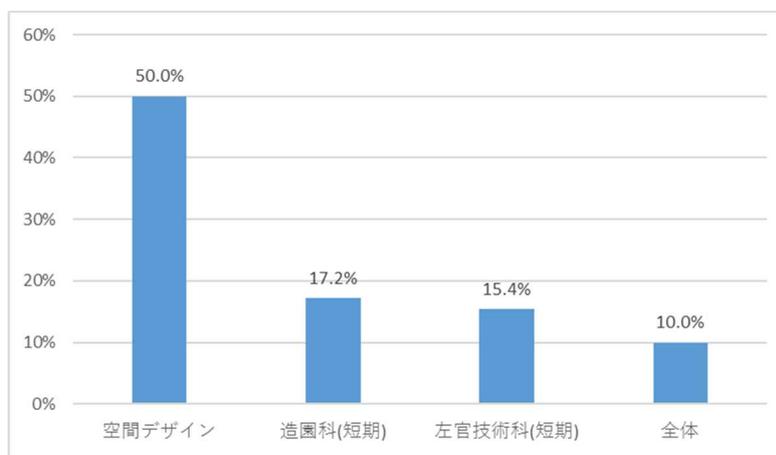
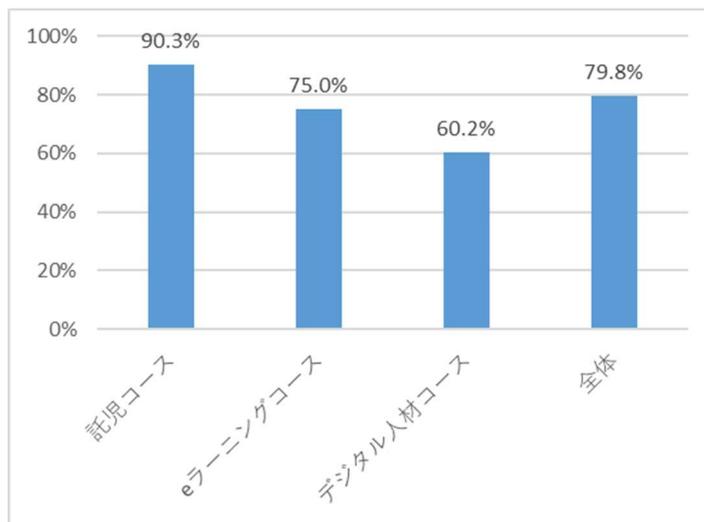


図 10 離職者等再就職訓練における女性の割合



② 年齢別の傾向

全般的には、高等技術専門校の施設内訓練（学卒者訓練）は高校新卒者等を対象とするため10代の若者が多く、高等技術専門校の施設内訓練（離職者訓練）及び離職者等再就職訓練は離職者が主な対象のため20代以上の者が殆どですが、訓練科によっては、施設内訓練（離職者訓練）でも10代の若者が多い訓練科があるなど、訓練科やコースによって様々です。

図 1 1 高等技術専門校の施設内訓練における若年者が多い訓練科の入校生の年齢分布

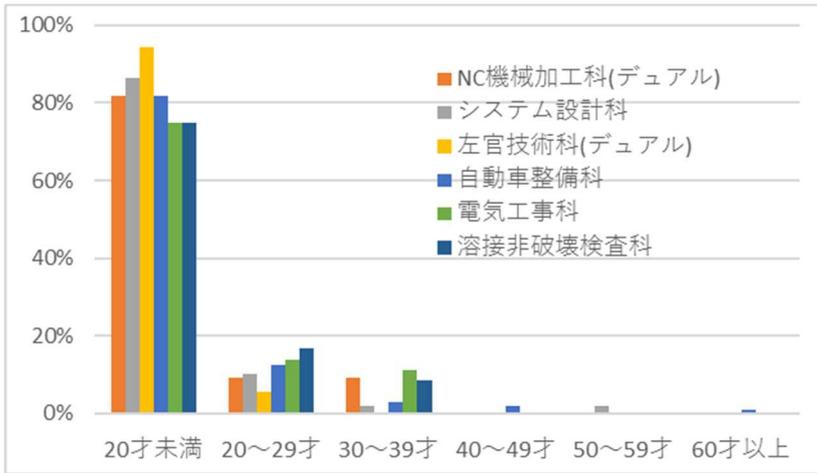


図 1 2 高等技術専門校の施設内訓練における高齢者が多い訓練科の入校生の年齢分布

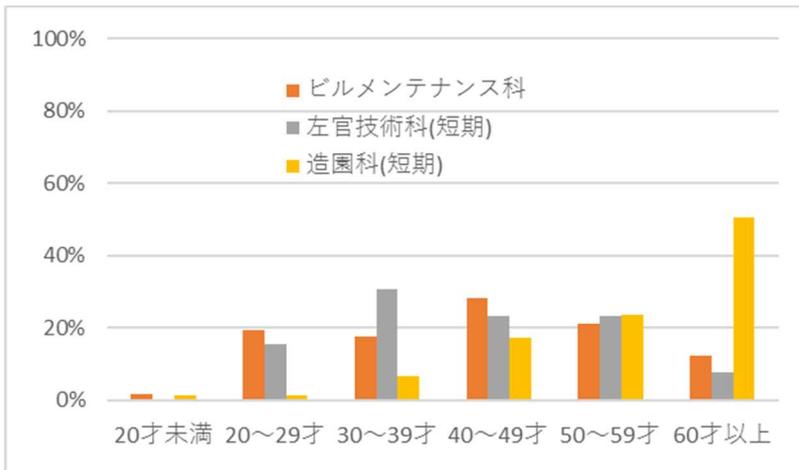


図 13 離職者等再就職訓練における年齢分布

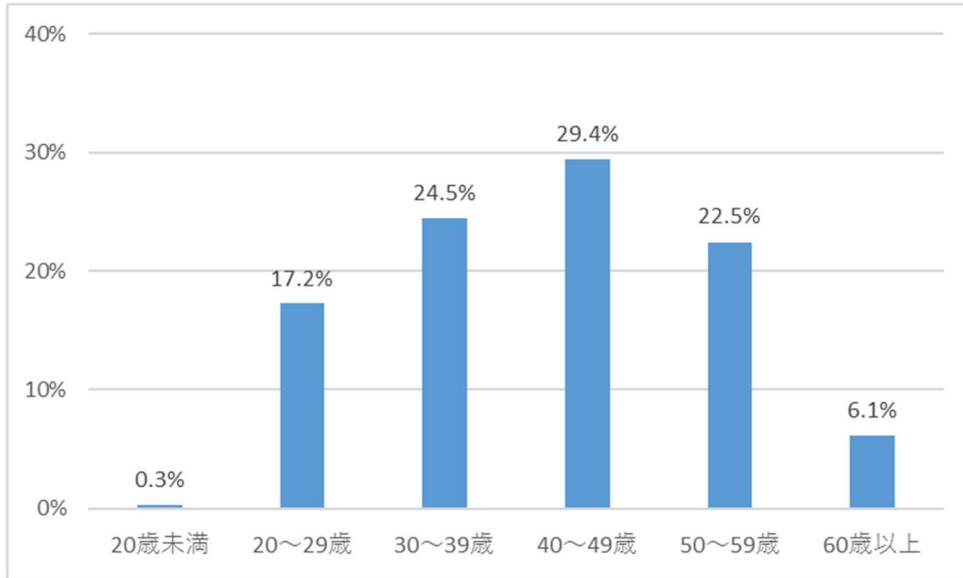
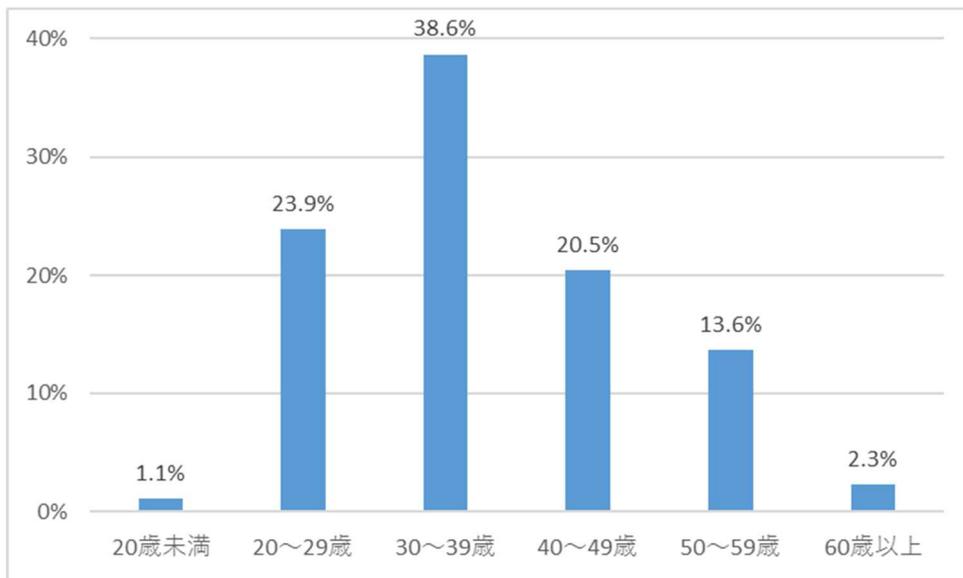


図 14 離職者等再就職訓練のうちデジタル人材育成コースにおける年齢分布



2 技能振興の状況

(1) キャリア教育の状況

ア 未来の名工チャレンジ事業

小・中・高校生、障害のある方、職業スキルを積む機会が得られなかった若年層等を対象に、ものづくり産業の魅力を発信することを目的として、各校で「未来の名工チャレンジ事業」を実施しています。

実施内容は、各校における各訓練科の特色に合わせた体験コースとしています。

・近年の実施状況

年度	実施コース数	参加者数	
		うち高校生	
令和元	67	285名	197名
令和2	13	56名	43名
令和3	65	211名	121名

イ 手づくりみらい教室

千葉県職業能力開発協会と千葉県技能士連合会の共催で厚生労働省からの委託事業として、小学生を対象とした「手づくりみらい教室」を実施し、ものづくり体験の提供をしています。

・近年の実施状況

年度	実施内容の例	参加者数
令和元	・銅板レリーフ ・鱈姿作り・しめじご飯・お吸い物 ・ミニバックなど	227名
令和2	・フラワーギフト ・本立て ・仮表装（掛け軸） など	66名
令和3	・銅板レリーフ ・フラワーギフト ・しっくい画・アートモザイクタイルなど	99名

※ 令和元年度は12メニュー、令和2年度は7メニュー、令和3年度はメニューを実施した(令和2～3年度はコロナウイルス感染症の影響により、実施校は1校のみ)。

ウ ものづくりマイスター制度

千葉県職業能力開発協会では、若年技能者の人材育成、技能尊重気運の醸成等のため、厚生労働省からの委託事業である「ものづくりマイスター制度」により、広く若年技能者への実技指導等を実施しています。

年度	認定実人数 (累計)	職種数 (累計)	マイスター派遣状況 (人日)		
			企業	職業高校等	その他
令和元	27人	11職種	1,447人日	1,766人日	0人日
令和2	22人	11職種	943人日	1,392人日	0人日
令和3	19名	14職種	389人日	2,446人日	0人日

(2) 技能競技大会等の技能振興の状況

ア 技能競技大会等

- ・ 技能五輪大会
23歳以下の青年技術者を対象とした技能レベルを競う大会です。(毎年実施) 全国大会参加選手を激励するため、県庁にて激励会を実施しています。
また、令和3年度に技能五輪選手育成強化事業補助金を創設し、技能五輪全国大会に出場する選手の技能向上訓練費用の助成を行っています。
- ・ 技能グランプリ
熟練技能者を対象とした技能の日本一を競う大会です。(隔年実施) 全国大会参加選手を激励するため、県庁にて激励会を実施しています。
- ・ 千葉県技能祭
県内で働く技能労働者の技の発表機会の確保と、技能向上を目的として開催しています。(毎年実施)

イ 職業能力開発促進大会の開催

技能尊重の気運を高め、職業能力開発の促進と技能者の地位向上を図ることを目的に、千葉県職業能力開発協会等と連携し、主に県内の優れた技能者及び職業能力開発促進に功績のあった者の表彰・紹介を行うため、毎年12月に開催しています。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は中止、令和3年度は規模を縮小して開催)

ウ 千葉県の卓越した技能者表彰

技能者の模範と認められる者を「千葉県の卓越した技能者表彰」として、知事表彰を行っています。令和3年度までの表彰者は累計で615名になります。

(3) 技能検定の状況

ア 技能検定（前期・後期）の状況

技能検定とは、労働者の有する技能を一定の基準によって検定し、これを公証する国家検定制度です。(特級、1級、2級、3級、単一等級)

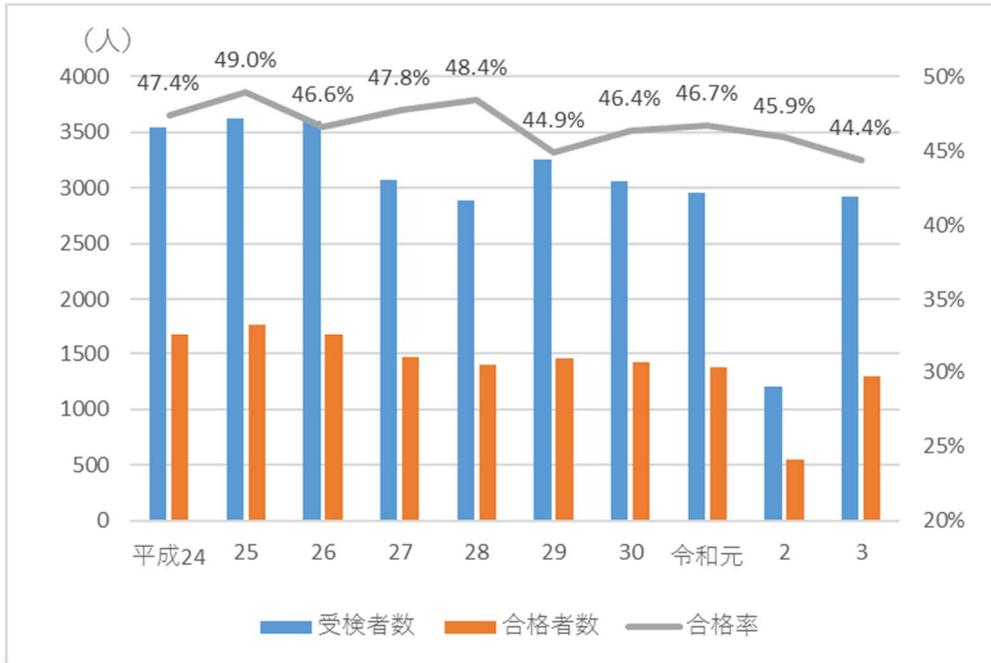
職業能力開発促進法に基づき、昭和34年度から毎年国が定める実施計画に基づいて、千葉県職業能力開発協会が主体となって年2回実施しています。

・ 過去3年の実績

年度	受検申請者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
令和元	2,951	1,379	46.7
令和2	1,205	553	45.9
令和3	2,924	1,298	44.4

※令和2年度は年1回実施（前期技能検定は中止・後期技能検定のみ実施）

図 15 技能検定受検者等の推移



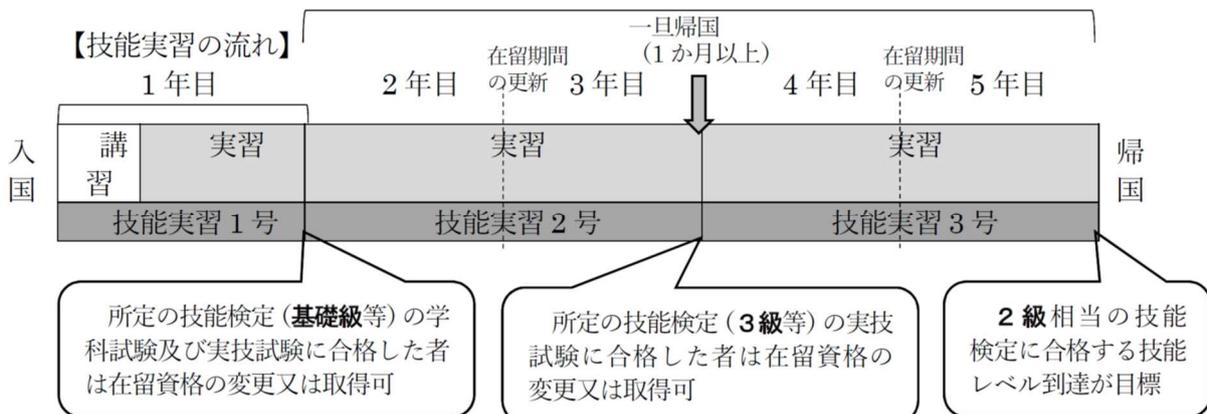
イ 外国人技能実習制度と技能検定制度

開発途上国等の青年労働者を実習生として受入れ、企業で知識や技能を習得させるもので、1年の技能実習1号を終え、2年目に技能実習2号に移行する際に、技能検定（基礎級）の合格、3年目に技能実習2号を終え、4年目に技能実習3号に移行する際に、技能検定（3級）の実技試験の合格が要件の一つになっているため、随時、検定を実施しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、外国人の入国制限・入国停止が行われたため、入国1年目の技能実習終了時に行われる、合格率の高い「基礎級」の受検申請者が大幅に減少（前年に比較して2,000人程度減少）したことで、全体の合格率が下がっています。

・過去3年の実績

年度	受検申請者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
令和元	5,669	3,297	58.2
令和2	5,879	2,939	50.0
令和3	5,103	1,809	35.4



(4) 技能継承の状況

ア ちば企業人スキルアップセミナー（再掲）

地域の中小企業の在職者等を対象に技能向上のための訓練（ちば企業人スキルアップセミナー）を実施しています。平成29年度から令和3年度までで977名が受講しています。

イ ものづくりマイスター制度（再掲）

千葉県職業能力開発協会では、若年技能者の人材育成、技能尊重気運の醸成等のため、厚生労働省からの委託事業である「ものづくりマイスター制度」により、広く若年技能者への実技指導等を実施しています。

(5) 千葉県職業能力開発協会における職業能力開発事業

千葉県職業能力開発協会は、職業能力の開発促進を目的として設置された法人で、技能検定の実施をはじめ、技能五輪への参加支援、千葉県技能祭の開催、若年技能者の人材育成、ものづくりマイスター制度の推進など、県との密接な連携のもと、様々な事業を実施しています。

3 関係機関との連携

(1) 教育委員会との連携

高等技術専門校において、小・中・高校生等を対象にした「未来の名工チャレンジ事業（体験付きオープンキャンパス（高校生向け）・夏休みものづくり体験（小中学生向け）」を、教育委員会と連携しながら実施しています。

また、高等技術専門校の職業訓練指導員等が近隣の高等学校等を訪問して情報を共有し、地域の人材育成機関間の連携を深めるとともに、企業、大学・専門学校、関係機関、行政、県立工業高校で構成される「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」への参加等により、工業高校との連携を図っています。

(2) 千葉労働局等との連携

国（千葉労働局、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部）及び千葉県が公共職業訓練を行うに当たり、地域の職業訓練ニーズを踏まえ、効果的な実施を図るため、地域訓練協議会を設置し、「千葉県職業訓練実施計画（総合計画）」を策定することにより、相互に必要な調整を図っています。